

第1版： 2024年 2月 13日作成

令和5年度大分プラットフォーム事業（うま塩ヘルシー・弁当提供事業）
2023年大分大学医学部看護学科 うま塩活動 市民公開講座 in 国東市（科研費事業）
「病をもっているいなくても“よりよく生きる”を目指した人生会議」に
参加された皆様へ

～市民公開講座におけるうま塩弁当の感想カードおよび
人生会議のグループワークの記録と講座の評価に関する質問紙調査の
医学データ研究への使用のお願い～

【研究課題名】

減塩啓発活動に努める就労者における人生会議の有用性

【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2023年8月に開催した市民公開講座「病をもっているいなくても“よりよく生きる”を目指した人生会議」へ参加された方

【研究の目的・方法について】

国内における健康寿命の延伸に向けた取り組みでは、生活習慣病の発症予防・重症化予防が重要とされています。しかしながら、厚生労働省が実施した「2016年国民健康・栄養調査」では、糖尿病が疑われる人の推計が1,000万人と1997年以降増加を続けており、生活と重症化予防・管理の両立に向けたセルフケア支援の取り組みは課題となっています。

生活習慣病やがん等は、その人の生涯にわたりともに生きるため、心やからだの状態によっては自分が望む医療やケアについてのご自身の意思も変化すると考えられます。そのため、その意思を早くから何度でも繰り返し考えることが重要とされています。2023年8月に開催した市民公開講座では、市役所の職員様やうま塩活動に取り組む飲食店の皆様を対象に、人生会議をグループワークで行わせて頂きました。

そこで、ご自身やご家族の健康を考えケアすることについて、市民公開講座の効果을明らかにすることで、うま塩活動の発展だけでなく、より健康で元気に過ごすことへ向けた支援活動や地域の発展へのヒントが得られると考えます。この評価のために市民公開講座におけるうま塩弁当の感想カード、グループワークの記録と講座の評価に関する質問紙調査で得られたデータを本研究で使用します。

【研究期間】 (医学部長実施許可日) ~2025年3月31日

【使用させていただく情報について】

本研究におきまして、市民公開講座におけるうま塩弁当の感想カードおよび、グループワークの記録と講座の評価に関する質問紙調査の内容を研究データとして医学研究へ応用させていただきたいと思っております。

なお、これらのデータを研究に使用させていただくことについては、大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、情報については、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工したうえで管理しますので、プライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。データの処理は匿名で行っており、対象となるデータにおいて個人を特定することはできないようになっております。

【使用させていただく情報の保存等について】

市民公開講座におけるうま塩弁当の感想カードおよび、グループワークの記録と講座の評価に関する質問紙調査の内容の本研究で使用した情報は論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、紙の資料はシュレッダーにて廃棄したり、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。

【外部への情報の提供】

本研究の主施設である大分大学への皆様の情報の提供については、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。なお、取得した情報を提供する際は、記録を作成し大分大学医学部実践看護学講座成人看護学で保管します。また、大分大学医学部長宛へ提供の届出を行い、提供先へも提供内容がわかる記録を提出します。

【皆様の費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、研究対象となる方の費用負担はありません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である科学研究費 基盤(C) 課題番号：18K10313(研究代表者：脇 幸子)を用いて研究が行われます。

^{りえきそうはん}
【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間接的な関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ協力するかしないかは皆様ご自身の自由です。従いまして、ご自身の調査内容を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、研究対象から除外いたします。また、本研究への協力の有無や本研究の結果が、業務評価等に反映されるなど皆様へ不利益になることは一切ありません。

なお、得られた研究結果は研究論文として公表することになりますが、目的外の利用は行いません。また、研究結果を公表する際は個人が特定されないようプライバシーに配慮して行います。しかしながら、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることがありません。

研究への利用を拒否される場合、その他、本研究に関して質問等がありましたら、以下の連絡先までお申し出下さい。

【研究組織】

研究責任者

実践看護学講座 成人看護学 助手 佐藤 昂太郎

研究分担者

実践看護学講座 成人看護学 教授 脇 幸子

実践看護学講座 成人看護学 助教 大野 夏稀

実践看護学講座 成人看護学 教授 末弘 理恵

基盤看護学講座 健康科学 教授 加隈 哲也

看護学科修士課程専攻 大学院生 大柱 智恵美

研究協力機関

国東市役所 医療保健課 保健師 小田 かおり

国東市役所 医療保健課 栄養士 萩原 愛美

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が

ない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5055

担当者：大分大学医学部看護学科 実践看護学講座 助手
佐藤 昂太朗（さとう こうたろう）